



厚生労働省北海道労働局発表  
平成28年1月19日

【担当】

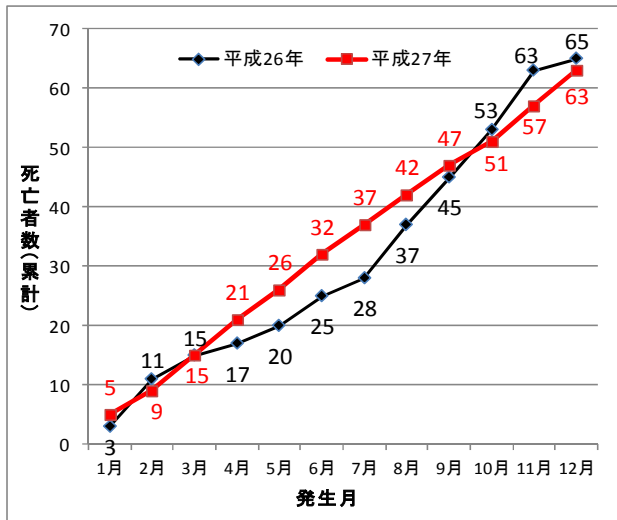
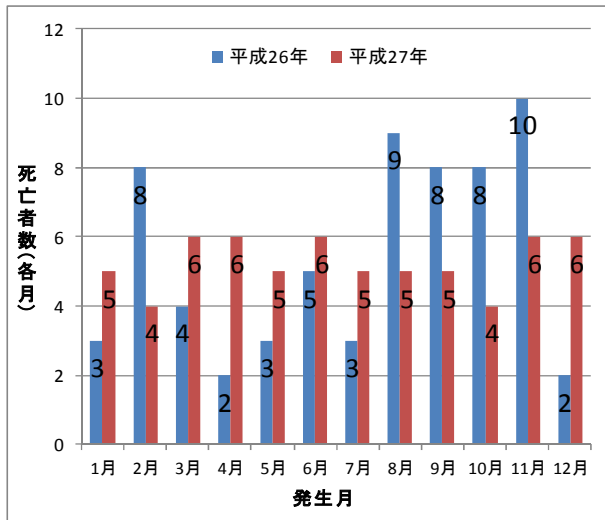
北海道労働局労働基準部安全課  
課長 山谷 幸雄  
安全専門官 渡邊 哲也  
電話：011-709-2311（内3557）  
FAX：011-756-0056

## 死亡労働災害は速報値で前年比2人減少 死傷労働災害は前年同期比0.6%減少

— 北海道内の労働災害発生状況（平成27年12月末現在速報値） —

### 1 労働災害による死亡者数（1月～12月）

道内の労働災害による死亡者数は、平成27年12月末現在の速報値で63人と、前年と比べ2人の減少となっています。



#### （1）業種別の状況【資料3、4】

業種別に見ると、「建設業」が25人（全体の39.7%、前年比3人増）と最も多く、「陸上貨物運送事業」が9人（全体の14.3%、前年比3人増）、「製造業」が7人（全体の11.1%、前年比3人増）、「林業」と「小売業」が各4人（各全体の6.3%、「林業」は前年と同数、「小売業」は前年比3人減）、「港湾運送業」が1人の順となっています。

#### （2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が18人（全体の28.6%）と最も多く、次いで、「交通事故（道路）」が11人（全体の17.5%）、「はさまれ・巻き込まれ」が9人（全体の14.3%）、「崩壊・倒壊」が7人（全体の11.1%）と続き、この4種類の災害で全体の71.4%を占めています。

## 2 労働災害による死傷者数（1月～12月）

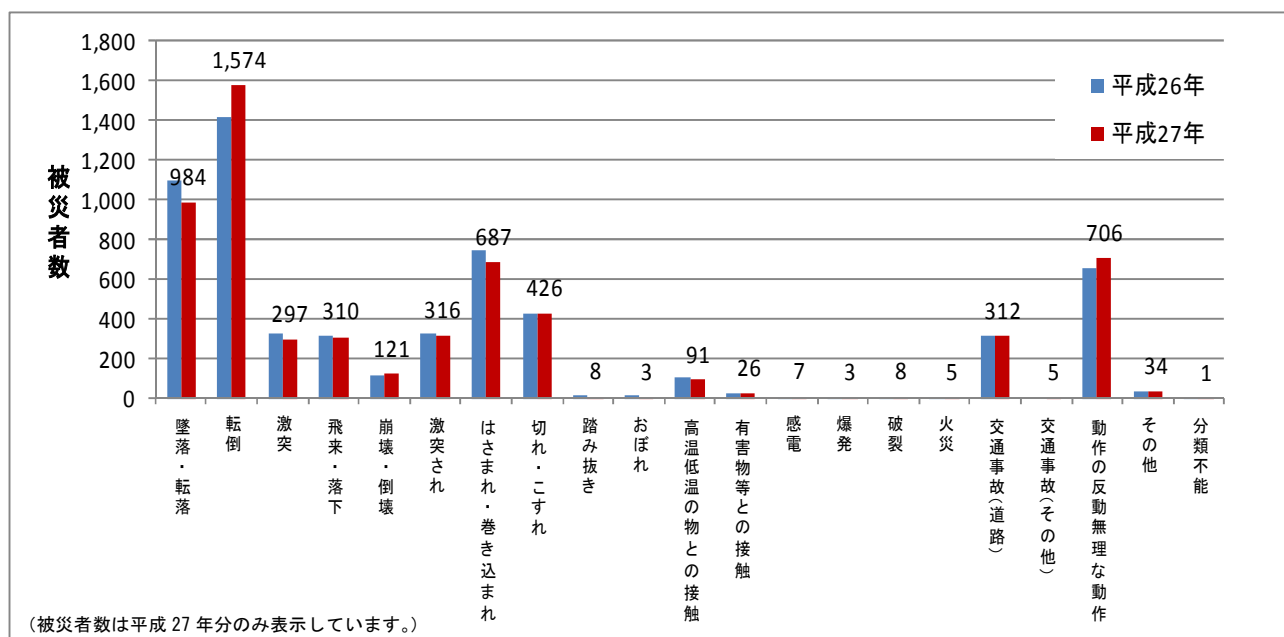
道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成27年12月末現在の速報値で5,924人と、前年同期比36人減（0.6%減）となっています。

### （1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が1,094人（全体の18.5%、前年同期比49人増）と最も多く、次いで「建設業」が924人（全体の15.6%、前年同期比45人減）、「商業」が826人（全体の13.9%、前年同期比3人増）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が694人（全体の11.7%、前年同期比68人減）の順となっています。

### （2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が1,574人（全体の26.6%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が984人（全体の16.6%）、「動作の反動・無理な動作」が706人（全体の11.9%）、「はさまれ、巻き込まれ」が687人（全体の11.6%）となっています。



## 3 北海道労働局の対応

北海道労働局では、引き続き「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」（取組期間：平成27年12月1日～平成28年3月31日）の取組みの啓発を行うとともに、降積雪期における労働災害防止のため、「冬季特有の労働災害を防止しよう！」リーフレットを配布し、各事業場における自主的な労働災害防止活動の取組みを推進しています。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成27年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 6 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」

「冬季特有の労働災害を防止しよう！」